



「きらりと光るまちの人
SMILE UP!」

中村 寧音 さん

NAKAMURA SHIZUNE

全国大会に出場する小野田高校かるた部の部長

百人一首の上の句が詠まれた瞬間、その音を聞き分け、下の句の札を払う。札を払う動作の激しさや、試合では精神力や体力が必要なことから、競技かるたは「畳上の格闘技」とも称される。所属するかるた部は、11月に岡山県で開催された第23回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会で見事優勝し、3月に東京都で開催される全国高校生かるたグランプリ大会への出場を決めた。新型コロナウイルス感染症の影響により満足に練習ができない中、部員一人ひとりが自主練習を重ねて技術力を磨き、勝利をつかんだ。

初めて競技かるたを体験したのは、厚狭小学校5年生のとき。以来かるたに魅せられ、かるた部のある小野田高校に入学した。部では日々の猛練習に励むかわら、部員らが講師となり、高千帆中学校の生徒や大人を対象としたかるた教室を開催するなど、かるたの普及活動にも積極的に関わる。今年度は竜王中学校、本山・赤崎小学校の生徒児童と一緒に「かるた交流会」も開催した。活動の中で、かるたを通じて様々な年代の人とコミュニケーションをとれる楽しさを知った。「年齢や性別に関係なく、対等に試合ができるのがかるたの魅力です。将来は地域をかるたで盛り上げ、どんな形でもかるたに関わっていたい」

部訓は「かるたを通して人間性を磨く」。「単に試合に勝つだけでなく、礼儀作法や相手に対する敬意を大切にしているところが小野田高校かるた部の強みです」と微笑む。全国大会での目標は「平成28年度大会の6位を上回る成績」。1試合1時間半にもおよぶ競技かるたは、集中力、緊張感、体力の持続が勝負を分けるカギとなる。技と心を磨き、部員一丸となって全国に挑む。

Profile・山口県立小野田高等学校2年生。小倉百人一首かるた部所属。部長として1、2年生合わせて23人の部員を率いる。



▲試合形式での練習



▲目標が書かれた部室の黒板

えがおがいちばん!!

★対象：小学校就学前までのお子さん

①お子さんの写真(プリントしたものまたはデジタルデータ)②お子さんの名前(ふりがな)③生年月日④年齢⑤性別⑥親の名前⑦郵便番号⑧住所⑨電話番号⑩15文字程度のコメントを記入

した申込書を添えて提出

(郵送、E-mailでも可)



〒756-8601 山陽小野田市役所
シティセールス課広報係 (☎82-1148)



ふじい かずし
藤井 一司くん(3歳)
早くオムツ卒業しようね!



くらしげ ゆうと ふうか
倉重 悠斗くん(4歳)・楓花ちゃん(1歳)
二人仲良し元気たくさん兄妹です

